

最新マシンで楽しく健康づくり 「石巻トレーニングセンター」開所



総合運動公園に12月1日、「石巻トレーニングセンター」がオープンしました。一般的なウエートや有酸素運動のマシンに加え、体のゆがみを整えるストレッチマシン、「サッカー」1の8割以上のチームが導入している疲労回復機能のある最新マシンなど40種類近い機具をそろえています。スタッフが2人以上常駐し、マシンの解説やトレーニングの指導などを行います。利用時間は午前9時～午後9時（日曜・祝日午後5時まで）。利用者は高校生以上に限り、料金は一般500円、大学生300円、高校生200円。割安な回数券もあります。

図 石巻トレーニングセンター ☎25-7731

ひざなどの負担を軽減しながら下半身を鍛えるマット

亀山市長らがテープカット。最先端のトレーニングセンターの完成を祝いました



さまざまな運動に対応するTRXマシン

スクリーンの映像を見ながら最大6人で疑似サイクリングやレースが楽しめるバイクマシンは東北初の登場



石巻市のNPOについて

第1回

このコーナーでの「NPO」とは、NPO法人のみならず、公益活動を行う社団法人、財団法人、ボランティアなどの任意団体も含まれます

震災から8年になろうとしている今、多くのNPOの活動が被災者支援から地域の課題解決にシフトしています。今まで見えにくかった地域課題が震災をきっかけに広く知られるようになりましたが、その解決を行政に頼るだけでなく、NPOを設立運営し、活動に参加しながら、市民自ら課題解決に取り組む動きが見られるようになりました。

震災前からの課題

- ・若年層の流出と超高齢化
- ・医療、福祉の費用負担の増大
- ・高齢者の移動手段の確保
- ・子供の教育の格差 など

震災により顕在化

NPOの専門性を活かした課題解決への取り組み

- ・公共交通機関等を利用できない高齢者の移動支援
- ・学習困難児童の放課後ケア、こども食堂の設置
- ・高校生の地元就職を後押しするインターンシップのコーディネート など



どの取組も、各々の団体の得意分野を活かしたものだよ！震災があったからこそ、このような取り組みができたと言えるかもね。



石巻市は中心市街地から離半島部まで広範囲で被災し、被災者のニーズも多様だったため、行政だけではとても手が回らなかった。それで各々のNPOが機動力を活かして、被災者支援を行ったんだ。

下のグラフは市に登録しているNPO団体数の推移だよ。今も増え続けているのは、住民自らがNPOを作って地域課題の解決を図る動きが活発になったってことじゃないかな？



なるほど。被災者支援のニーズも少なくなった今、NPOは震災前からあった地域課題の解決に取り組んでいるってことだね。



市民にとってより良いサービスをスピーディに届けるためには、NPOの持っている専門性と機動力を活かすことが必要になってきたよ。

そうだね！もっとNPOの活動について教えてね！（次回へつづく）



石巻市NPO支援オフィス
＜管理運営＞NPO法人いしのまきNPOセンター ☎23-3641

図 地域協働課(内線4237)